

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	農業農村整備事業（地盤沈下対策事業）				
地区名	とみだ 富田地区				
事業箇所	なごや なかがわ 名古屋市中川区				
事業のあらまし	<p>本事業の対象地域は、名古屋市中川区に位置し、二級河川戸田川の両岸に広がる流域 144.5ha の低平な農村地域である。</p> <p>本地域の排水路は、1978 年度から 1983 年度に県営地盤沈下対策事業により鋼矢板排水路として造成されたが、老朽化に伴う鋼矢板の腐食が進行しており、豪雨時には農地や農業用施設、さらには民家などにも湛水被害が発生する恐れが高まっている。</p> <p>こうしたことから、2016 年度より本事業を実施し、設置から 40 年程度が経過し老朽化が著しい鋼矢板排水路を更新する工事を実施している。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>老朽化した排水路を更新することで、流域内の湛水被害を防止することにより、地域住民の安全・安心を確保するとともに、農業経営の安定を図る。</p> <p>（基準雨量：341 mm/3 日、1/20 年確率降雨）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時(2015)	再評価時(2020)	変動要因の分析	
	事業期間	2016～2025	2016～2025		
	事業費（億円）	8.9	9.8		
	経費内訳	工事費	8.3	9.0	労務資材費の増 (2015 単価→2020 単価)
		用補費	0.04	0.06	精査による増
		その他	0.6	0.7	精査による増
事業内容	排水路工 1.0km	排水路工 1.0km			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>地区内の排水路は、老朽化に伴う鋼矢板の腐食の進行により排水状況が悪化し、湛水被害を生じる恐れがあるため、早急に更新し、排水機能を維持する必要がある。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>地区内の未改修区間では、依然として、排水路の老朽化が進行し危険な状態であり、抜本的な改修の必要性は継続している。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>未改修区間では、依然として排水路の老朽化が進行し危険な状態であり、事業の必要性は依然として高い。</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】</p> <p>未改修区間では、依然として排水路の老朽化が進行し危険な状態であり、抜本的な改修が必要な状況は継続している。</p>		

Ⅲ 対応方針	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業後の湛水被害の有無を確認</p> <p>※事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生した場合、その降雨により評価する。ただし、事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の降雨により評価する。</p>	